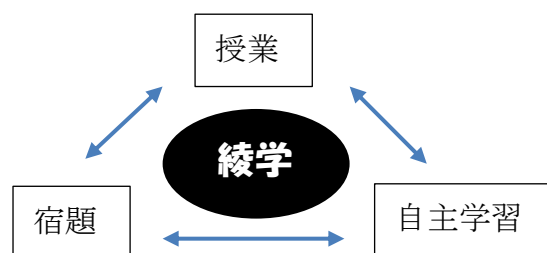


自分で学習する力を付けるための

「Let's 自主学習Ⅱ」の心がまえ

1 家庭学習の意味

授業で分かったこと、できるようになったことを**宿題**で確認し、苦手なところの克服や新しい単元の予習、調べてみたいことの追究のため、自分で目標を立てて**自主学習**に取り組むことはとても大切なことです。綾部中学校では、このような学習の授業・宿題・自主学習に取り組むサイクルのことを『**綾学**』（あやがく）と言っています。



綾中サイクル学習のすすめ

～授業・宿題・家庭学習から『綾学』より

2 「Let's 自主学習Ⅱ」の上手な使い方

その一 身のまわりを整えましょう。

- ・ 集中するためにテレビを消しましょう。
- ・ 机の上を整理しましょう。
- ・ 宿題のノートとは別に自主学習用のノートを用意しましょう。

『思う念力岩をも通す』
ということわざがあります。

その二 計画を立てて取り組みましょう。

- ・ 「Let's 自主学習Ⅱ」にのっている例を見ながら学習内容を考えましょう。慣れてきたらどんどん自分で内容を考えていきましょう。
- ・ 学習をはじめる前に目標となる学習の「めあて」を立てましょう。目標を立てることで、学習に向かう姿勢や意識が高まります。
- ・ 学習の終わりには「振り返り」を書きましょう。「振り返り」は学習の「めあて」についてどうだったのかを自己評価しながら書きましょう。

その三 興味を持ったものから取り組んでみましょう。

- ・ おもしろそう。やってみよう。と思ったことを学習してみよう。

3 自主学習を頑張るみんなへ

『夢を掴むことというのは一気にはできません。小さなことを積み重ねることによっていつの日か信じられないような力を出せるようになっていきます。』

毎日こつこつ取り組むことでは、夢を叶えてきたプロ野球選手の鈴木一朗選手（イチロー）の言葉です。

分からないことが分かるようになった。できなかったことができるようになった。成績が少しずつあがってきた。これらのことは、毎日の学習をこつこつと積み重ねた結果です。毎日の学習を少しずつ続けていくために自主学習ノートを開いてみましょう。やってみたいことから始めましょう。自主学習ノートには、将来のみんなの夢につながっています。

保護者の方へ

家庭学習を支えるポイント

- ◇学習しやすい環境をつくること。
- ◇学習している様子を見守ること。
- ◇学校での様子に関心を持つこと。
- ◇将来の夢について話をする事。

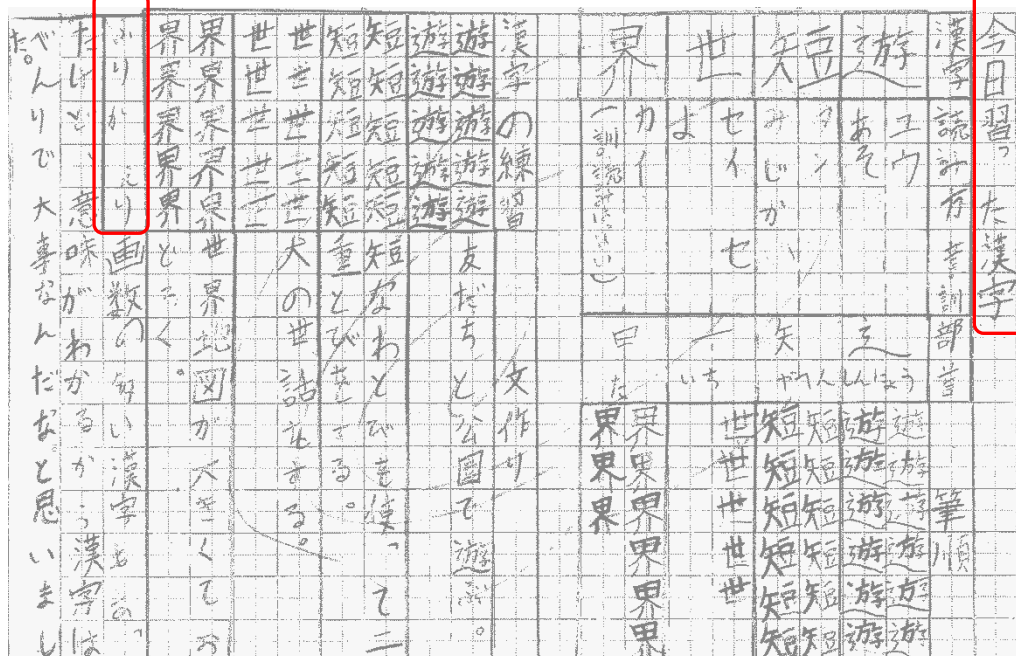
3・4年生（基本版）

- ・ 国語、算数、理科、社会など授業の復習を中心に漢字や計算練習に取り組みます。
- ・ できる限りたくさん問題を解いたり、練習したりできるように工夫して取り組みます。

振り返り

国語（漢字の学習）

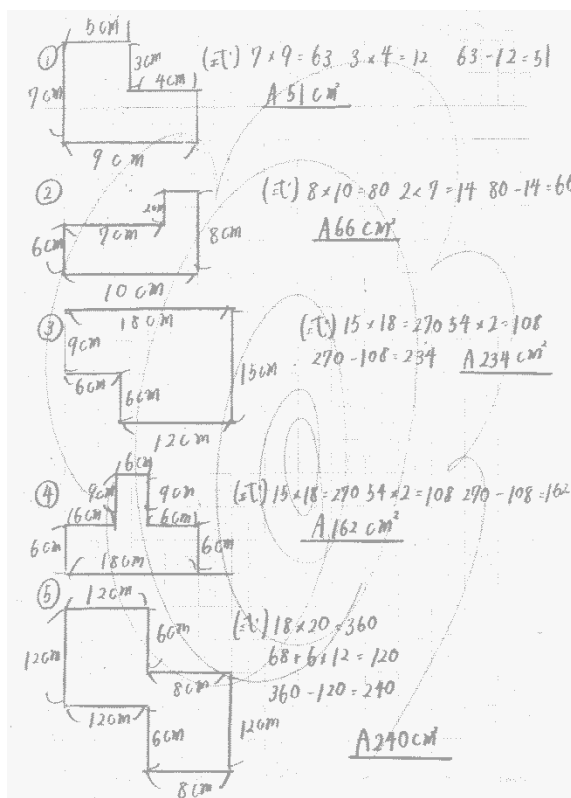
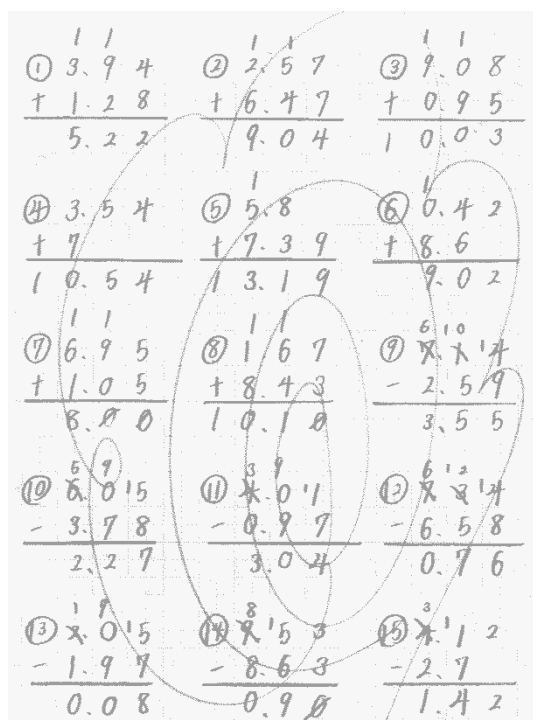
学習のめあて



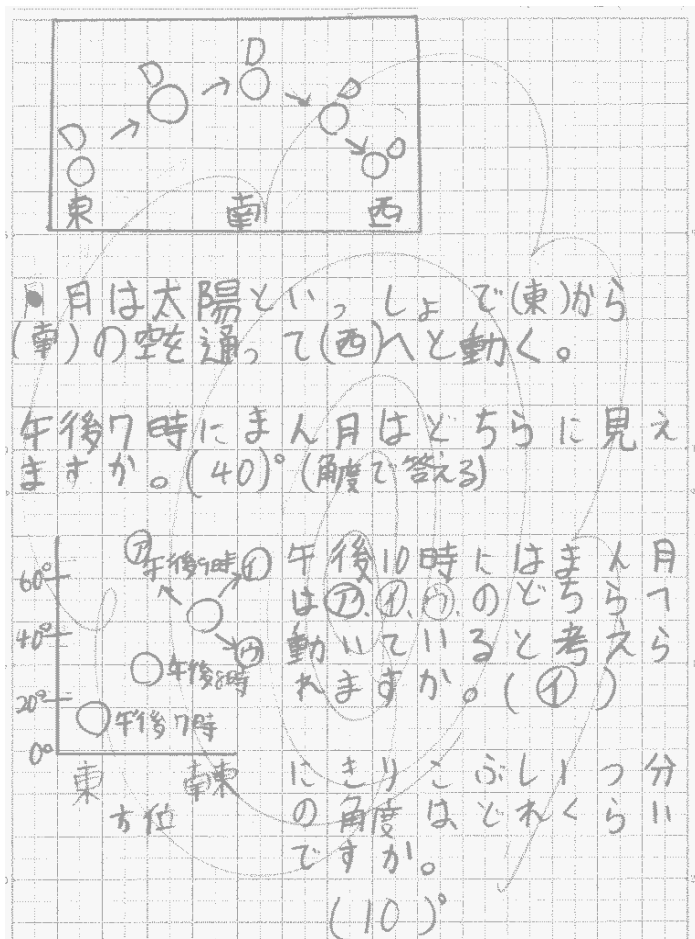
自主学習の「めあて」を立て、最後に「振り返り」を書いています。このように目標を立てて振り返ることは、日々の授業と同じです。

目的意識を持って自主学習をすることで漢字の定着につながります。

算数（計算練習・面積）



筆算では、位をそろえて計算できることが重要です。中学年では、2けた以上の四則計算を学習します。位をそろえることを意識して正しく計算できる力を身に付けましょう。また、面積の学習では、公式を使っていろいろな形に挑戦しています。順序立てて式にすることは、筋道立てて説明をしていく力になります。

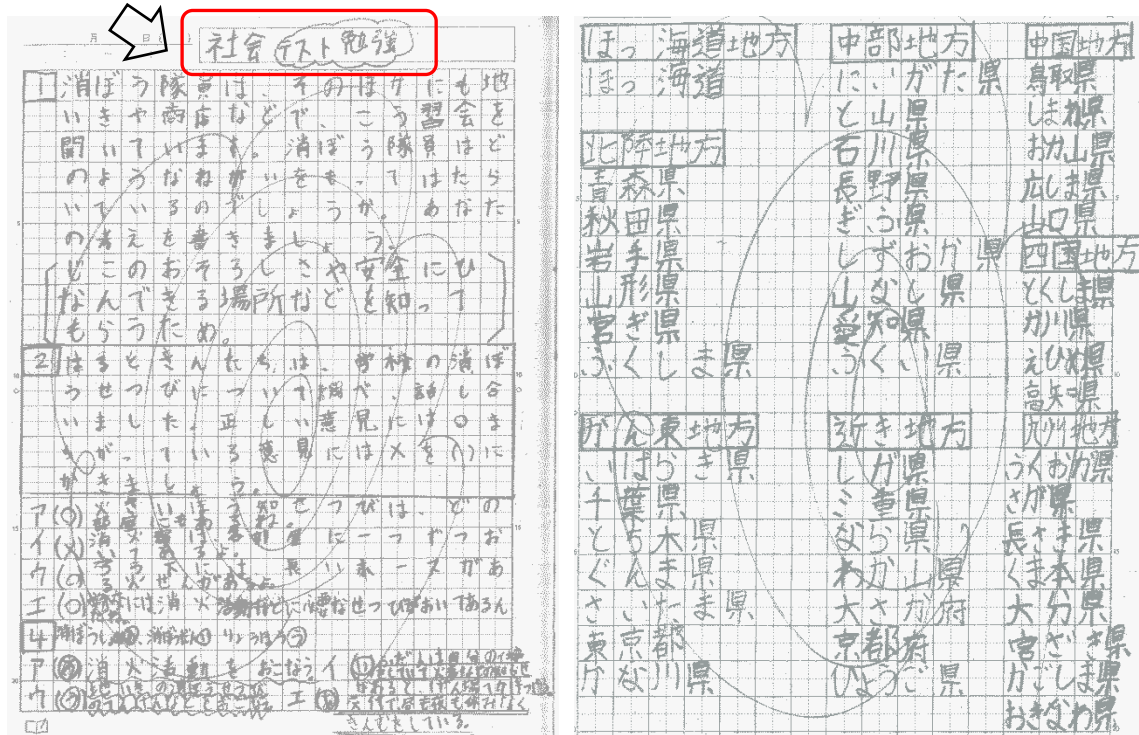


理科の自主学習では、教科書の図などを使ってまとめたり、授業のノートをもう一度整理したりすることで理解が深まります。

月の動きを図にかいて、矢印で動きを分かりやすく示す工夫がすばらしいです。さらに、問題形式で学習していることも効果的な学習です。

学習のめあて

社会 (テスト前学習・都道府県)



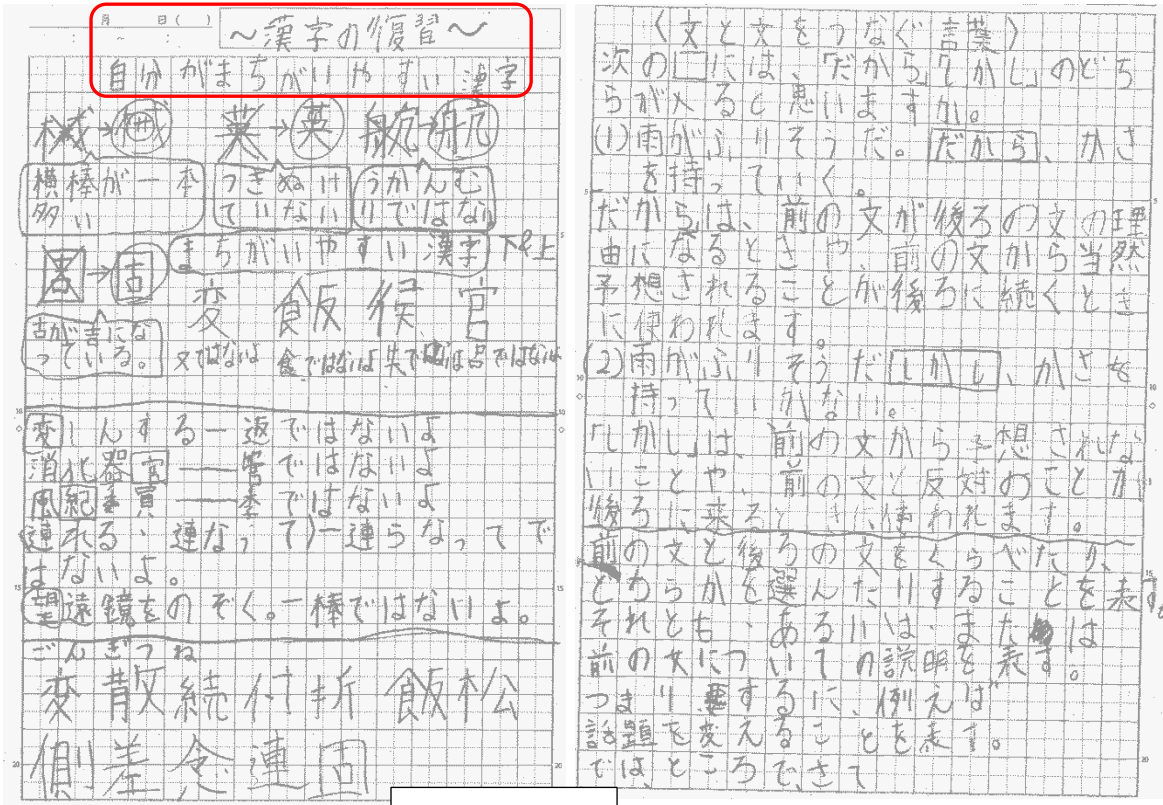
テスト勉強に向けて自分の考えを書くなどの記述の問題に取り組んでいます。また、ただ都道府県の名称を書くだけでなく、地域ごとに分けて書いています。学習の目的をはっきりさせて取り組むことで学習の効果が上がります。

3・4年生（発展版）

- ・ 工夫として矢印（→）、囲み（□）などを使ってまとめます。より重要な点を強調するような工夫で取り組みましょう。
- ・ 図を使ってまとめることは、イメージをする力を育てることにつながります。

国語 (漢字の学習)

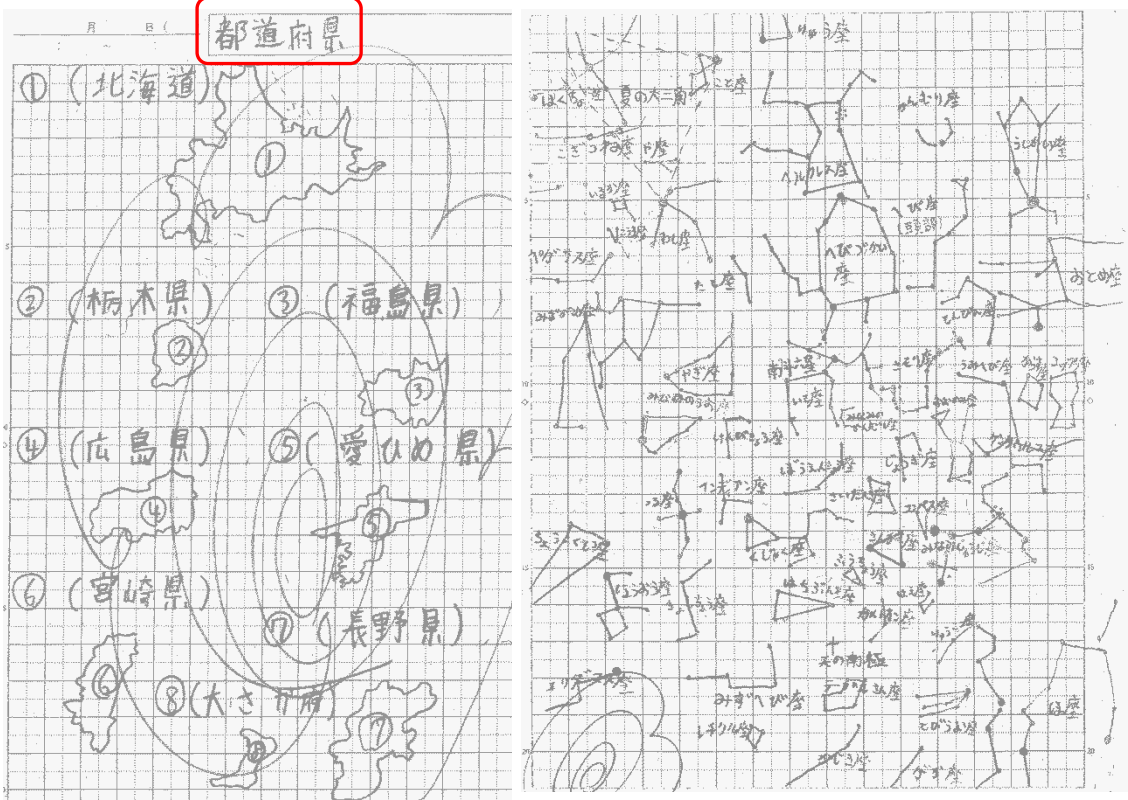
学習のめあて



学習のめあて

社会 (都道府県)

理科 (星座)



理科、社会それぞれの自主学習では、都道府県や星座名を書くだけでなく、形で表す工夫をしています。

形、つまりイメージで捉えることは名称の定着にもつながります。

国語、算数等でも
イメージ化してい
く工夫を心がけて
みましょう。